

# 産地戦略

実施期間 令和8～12年度

実施主体 南三陸大粒ぶどう協議会  
 都道府県 宮城県  
 対象地域 南三陸町  
 対象品目 ぶどう



## 新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	● 温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

## 目指す姿

南三陸町では、果樹類のせん定枝は野積み又は焼却処分され、同化された炭素が放出されることで温室効果ガスの排出源となっている。また、高齢の生産者が多いため、慣行のはさみでのせん定作業が身体への負担となっている。

せん定枝のバイオ炭を土壤に施用することで、土壤改良が図られるだけでなく、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動対策に貢献できることから、ぶどうのせん定枝を炭化処理し、土づくりと環境負荷低減を図る。あわせて、電動せん定ばさみの導入によりせん定作業の軽労化を図る。

## 現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	新梢管理		花(果)管理・袋掛け			収穫調整出荷			土づくり・施肥				
技術名									せん定				

## グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
主な作業名	新梢管理		花(果)管理・袋掛け			収穫調整出荷			土づくり・施肥					
技術名	バイオ										電動せん定はさみによるせん定		バイオ炭生成・施用	

## グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R12	備考
(参考) 対象品目の作付面積 (ha)	0.8	▶ 1	
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	0	▶ 1	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	0	▶ 1	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	0	▶ 1	

**環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要**

**〈技術の内容・効果〉**

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	せん定枝の野積みまたは焼却	▶ せん定枝のバイオ炭施用	温室効果ガス排出削減
省力	手動のせん定はさみ	▶ 電動せん定はさみ	せん定作業の作業時間削減及び負担軽減

**〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉**

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
省力	樹1本当たり作業時間（分）	<b>133</b>	▶ <b>106</b>	
			▶	
			▶	
			▶	

\* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）  
 \* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

**グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針**

当事業で検証した結果やこれに基づいた栽培暦を作成し、研修会等で協議会会員に周知する。

**関係者の役割**

関係者名	南三陸大粒ぶどう協議会	新みやぎ農業協同組合南三陸地区	宮城県気仙沼農業改良普及センター	南三陸町
役割	技術の導入、検討	情報発信、技術指導	技術指導、情報発信、普及推進	情報発信

**その他**